

第3回美園まちづくりワークショップ まとめ

○第3回美園まちづくりワークショップが開催されました！

第3回ワークショップを8月7日（日）に開催しました。今回は21名の方にご参加いただき、これまでと班編成を変更して3班体制で行い、美園地区のまちづくりに対しての活発な意見交換がなされました。

第1回ワークショップでは、美園地区のまちづくりの方向性について、第2回ワークショップでは、美園地区を4つのエリアに分け、それぞれのエリアでのまちづくり課題について意見交換を行ってきました。最終回となる第3回ワークショップでは、4つのエリアごとに取組みの優先順位を議論し、取組みを実現していくために「市民・住民が主体となって取組むこと」「行政や民間事業者などと共同で取組むこと」を整理しました。結果は裏面に掲載しています。本ワークショップの成果はみその都市デザイン協議会に提出し、都市デザイン方針（仮称）へ反映していく予定です。

第3回美園まちづくりワークショップ

日時■平成28年8月7日（日）14:00～16:00

会場■美園コミュニティセンター 第1・2集会室

テーマ■美園地区の課題を解決する取組方法について話し合おう。

参加者■21名（全3班）

※本ワークショップは、みその都市デザイン協議会が主催し、参加応募した美園地区にお住まいの方々等によって構成しています
（事務局：一般社団法人美園タウンマネジメント・さいたま市）



<今後の予定>

■美園まちづくりワークショップ成果報告会

開催日：10月22日（土）を予定

内容：本ワークショップでまとめた成果と、みその都市デザイン協議会で作成している（仮称）みその都市デザイン方針の素案をお披露目いたします。

第1回ワークショップ（6/19）

▼美園地区のまちづくりの方向性（7つのまちづくりテーマ）

安心安全に歩ける街

落ち着いた雰囲気の良い街

公園・緑が充実した街

自然環境・農環境を活かした街

埼玉を中心としたスポーツ・健康の街

駅を中心とした便利で賑わいの街

多世代が交流・循環する街

第2回ワークショップ（7/16）

▼4つのエリアごとの課題整理 ●…すぐやること ■…オリンピックまでにやること ▼…中長期的にやること

浦和美園駅周辺

- 駅前に商業・飲食店・喫茶店等を集める
- 駅前でサッカーをテーマに、美園地区の特色を生かした賑わいをつくる
- 外国人増を見越して、英語など外国語の案内を配置
- ▼ 駅の東西間を自由に往き来できるようにする
- ▼ 駅前の駐車場の利活用（行政・民間の協力）等

住宅地・学校・公園

- 住宅地の交通安全対策（交差点等交通事故の減少、速度制限等）
- 住宅地には住宅地に相応しい建物のルールづくり（高さ、業種等）
- 年代別や用途別に楽しめる、利用しやすい公園を整備
- ▼ 駅西口は落ち着いた住宅地として統一
- ▼ エリア内を循環するコミュニティバスの運行 等

埼玉スタジアム周辺

- スタジアムへの道の方向性を決める（住宅地か商業地か）
- 試合後に人をスムーズに誘導するための交通ルールづくり（住民とサポーターの交錯回避）
- サッカーだけではなく楽しめる通りづくり（アート等）
- ▼ 駅前～埼玉スタジアムの通りと、幹線道路との交差点を渡りやすくする 等

綾瀬川・調節池・近隣公園

- 調節池本来の機能確保（大雨時に十分機能できるように）
- 調節池内に浸水後も使える遊具や施設を設置
- 綾瀬川や舟運の歴史を伝える案内板を設置
- ▼ 綾瀬川沿いは歩く・走る空間や親水空間の整備、緑のゾーンなど場所ごとに特色があって楽しめる空間の整備 等

第3回美園まちづくりワークショップ まとめ

第3回ワークショップでは、これまでの議論を踏まえ、まちづくりの実現に向けた課題を解決する取組み方法について意見交換を行いました。
はじめに、4つのエリアごとに優先順位の高い取組みを選び出しました。その後、選び出した取組みについて、「住民・市民が主体となって取組むこと」「行政や民間事業者などと共同で取組むこと」について整理し、今後のまちづくりを進めていく上での取組み方法をまとめました。

★ 住民・市民が主体になって取り組めること ◆ 行政や民間事業者などと共同で取り組むこと

浦和美園駅周辺

○駅周辺の商業施設の増加による賑わいづくり

- ・飲食・カフェの立地への支援◆
- ・地元住民自らが開くお店を増やす
 - ・地主さん達を巻き込んだまちづくり検討★
 - ・まちの価値向上の必要性を学ぶ勉強会開催★

○単なる賑わいではないまちのブランド・品格づくり

- ・街のイメージカラーを決める（地区計画等）★
 - 駅周辺にもっとサッカーの色を出す

○平面駐車場を減らし、立駐整備に対して支援◆

○試合の日は駅構内で観客と住民を区別する◆

A班

まずは・・・

- ・街に必要なものが何か考える★
- ・将来のイメージを共有する★
- ・お店立地の働きかけをする
- ・駅に繋がって、雨に濡れない施設の整備

次に・・・

- （地価が高いことが土地利用の進まない障害であれば）
- ・誘致するものについては、助成金を出す（期限付き）◆
- ・来てほしい施設に対して、賃料を安くする働きかけ・助成◆

B班

○美園地区の利便性向上のため交通体系整備

- ・コミュニティバス（低料金）◆
- ・駐輪場整備★
 - 地主さんに空地等を解放してもらうことで対応が可能か検討する

○オリンピックの開催に向け外国語案内の設置

- ・案内人等をボランティアで募集★
- ・地元の小・中学生が課外授業として案内★

○今後増加する定住者・来街者に対応した歩きやすく弱者にやさしい道路整備

- ・ハード整備は行政が実施★
- ・ソフト施策として防犯ボランティア等により交通整理等も含めて活動を広げていく

○来街者（外国人含む）から良い街だと思ってもらえる統一感のあるまち・景観ルールづくり◆

- ・住民レベルでルールの運用や維持管理★

○駅前の利便性向上のため駅前に保育園や郵便局、ATM の設置

- ・特に既存の郵便局が駅から遠い
 - 組織を作って必要な施設の誘致を検討することが必要

C班



浦和美園駅



美園小学校



住宅地の敷地内緑化

○東京に先んじてまちの分煙化を進める★

- ・子供たちが受動喫煙しないまちづくり◆
- ・喫煙所は分かりやすい場所にしっかり設置する◆

○住宅地に立地できる建物を規制するルールづくり★

○公園づくりなどワークショップをもっと開催する★

A班

まずは・・・

- ・安全対策（取締り、ハンブ設置、抜け道防止）◆
- ・現状の商業施設前の混雑緩和◆
- ・学童保育対策（場所や場づくり、地域の人も支援）★
- ・道路・街灯もテーマをもって整備◆
 - 住宅が建つのに合わせ街灯を早くつける（通学路から）◆

○公園のアイデア

- ・竜巻・ゲリラ豪雨をよける場◆
- ・公園にトイレ◆

○道路のアイデア

- ・景観を損なわずに環境やエコに配慮した整備◆
 - ソーラーの街灯の整備◆
 - 人感センサーやスピーカー、鳥のさえずりなど◆

B班

○住宅地ではまず安全安心対策が必要★

- ・住民レベルでルールの運用や維持管理
- 美園の魅力をもっとアピールすることで、価値が上がり、人も来る◆
 - ・病院の周知等
 - UDCMiを活用し情報を発信

C班

住宅地・学校・公園

第3回美園まちづくりワークショップ まとめ

★ 住民・市民が主体になって取り組めること ◆ 行政や民間事業者などと共同で取り組むこと



綾瀬川、調節池、近隣公園

- 安全確保のために雑草の管理は徹底する
- 水に子供が近づかないための対策を施す

A 班

○まずは…

- ・全体でデザイン統一する（調節池、公園、河川） ★ ◆
- ・河川に新たな橋をかけ通学路として使う ◆
- ・国道 463 号で分断しており、動線の分断を解消する ◆

○次に…

- ・河川景観づくり（植栽を早く） ◆

○綾瀬川、調整池、公園整備のアイデア例

- ・特色を活かす使い方（調節池をサイクルパークに） ★ ◆
- ・桜並木は地区外とも連携
- ・見沼への拠点として整備
- ・河川沿いを中心に桜並木で回廊づくり ◆
- ・川の利用・魅力づくり
- ・歩いて楽しい環境づくり

B 班

- 行政や住民等を交えた協議会等の組織により検討していく
 - ・大雨時等になるか分からないため、まずは本来の機能確保が必要 ◆
 - ・夜が暗いため照明の設置（太陽光パネル等） ◆
 - ・美園、埼スタに来た人が気軽に寄れる遊歩道の整備 ◆

○綾瀬川の歴史を伝える看板の設置 ◆

- ・役割分担をする
 - 行政：看板設置、住民：デザイン等

○サイクリングロードの整備 ◆

- ・役割分担をする
 - 行政：サイクリングロード整備、住民：管理

○四季折々の計画的な植栽の検討 ★ ◆

- ・時期に合わせた木・花を植える
 - 「～を守る会」「～を保全する会」等により検討する

C 班

埼玉スタジアム周辺

【浦和美園駅～埼玉スタジアムの区間】

- 住民の視点から優先的に街灯を整備すべき道路を明確にする ★
- 試合の日と普通の日のギャップをなくす
- 試合の日の交通安全確保（交通量が多いため）
 - ・スクールゾーンの設定 ★
 - ・自動車の速度抑制 ◆
- 試合のない日の防犯・治安（交通量が少ないため）
 - ・交通安全員の増加（通学路以外でも） ★

A 班

【埼玉スタジアム周辺】

- サッカーのオフィシャルショップを設置 ◆
 - ・浦和レッズを好きな人達とまちづくりのコラボ ★
 - まちづくりのためにレッズサポーターから寄付を求める ★
- サッカー以外のイベントを開催
 - ・ランニング・ウォーキングの休憩所として活用
 - ランニングコースとして周辺を整備
 - ・特撮スポットであることを活かした整備
 - ヒーローショップ・イベント広場の設置 ◆
- 大宮・浦和からの循環バスをもっと増やす
- 試合の日は駅構内で観客と住民を区別する

○まずは…

- ・歩行者動線や考え方を明らかにする ★ ◆
 - 子供が利用する場所と大人の場所を分けるなど、エリアで性格づけをする
 - 斜面緑地は、アジサイ公園としての整備を検討 ◆
 - 今のアジサイを地域が増やすなども検討 ★

○その上で…

- ・サッカーロードは土地利用の用途が制限されており、ホテルが建てられるなど、緩和すべき（地区計画でルールづくり） ★
- ・若い人が集まる魅力づくり ★
- ・道路上の使い方や、路上ライブなど柔軟に利用できるようにする ★

B 班

○サポーターと住民が両立するルールづくり ◆

- ・試合後にゴミが捨てられていないようにする
- ・サッカーに興味ない人も賛同するルール、対応
 - ここから参道に入るという意識づけも含め、参道入口にモニュメントを設置
 - サッカーのレリーフの設置

○埼玉スタジアムまでにトイレ設置 ◆

- ・参道途中に公園があるためトイレを設置

○埼玉スタジアムまでの距離が長いので、サッカーだけでなく楽しめる通りの整備 ★ ◆

○日常利用がなされていないため、もっと埼玉スタジアムで地域に開かれたイベントを開催 ◆

- ・ゲーム等との連携をしても面白い（クイズ・宝探し）

○オリンピックまでは、出来ている路線の所にプラットフォームを作って対応する ◆

- 住民や地権者、民間事業者、SR、行政等の様々な立場の方を入れて組織を作り、検討していくことが大事 ◆
 - ・各団体の役割の明確化、ルールづくり

C 班